【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2004-528365(P2004-528365A)
【公表日】平成16年9月16日(2004.9.16)
【年通号数】公開・登録公報2004-036
【出願番号】特願2002-586951(P2002-586951)
【国際特許分類第７版】
Ａ６１Ｋ　31/663
Ａ６１Ｋ　 9/72
Ａ６１Ｋ　47/32
Ａ６１Ｋ　47/38
Ａ６１Ｋ　47/44
Ａ６１Ｐ　 3/14
Ａ６１Ｐ　13/04
Ａ６１Ｐ　19/00
Ａ６１Ｐ　19/08
Ａ６１Ｐ　19/10
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/663
Ａ６１Ｋ　 9/72
Ａ６１Ｋ　47/32
Ａ６１Ｋ　47/38
Ａ６１Ｋ　47/44
Ａ６１Ｐ　 3/14
Ａ６１Ｐ　13/04
Ａ６１Ｐ　19/00
Ａ６１Ｐ　19/08
Ａ６１Ｐ　19/10

【手続補正書】
【提出日】平成17年4月12日(2005.4.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ビスホスホン酸、その医薬的に許容される塩またはその混合物を含む、吸入用医薬組成物。
【請求項２】
毎日の投与のためにビスホスホン酸５０～１００μｇを含有する、請求項１に記載の吸入用医薬組成物。
【請求項３】
以下のもの：
(ａ)ビスホスホン酸、その医薬的に許容される塩、またはその混合物、
(ｂ)プロペラント、
(ｃ)所望により潤滑剤、および

(ｄ)所望により界面活性剤
を含む、請求項１に記載の吸入用医薬組成物。
【請求項４】
ビスホスホン酸がアレンドロネート、４－アミノ－１－ヒドロキシブチリデン－１,１－ビスホスホン酸；テルドロネート(teludronate)、４－クロロフェニルチオメチレンビスホスホナト酸；パミドロネート、(３－アミノヒドロキシプロピリデン)ビスホスホン酸；エチドロネート、(１－ヒドロキシエチリデン)ビスホスホン酸；レシドロネート、１－ヒドロキシ－２－(３－ピリジニル)エチリデンビスホスホン酸；ゾレドロネート、２－(イミダゾール－1－イル)－１－ヒドロキシエタン－１,１－ビスホスホン酸；および前記化合物の医薬的に許容される塩から構成される群から選択される、請求項１に記載の吸入用医薬組成物。
【請求項５】
ビスホスホン酸がアレンドロネート、４－アミノ－１－ヒドロキシブチリデン－１,１－ビスホスホン酸、その医薬的に許容される塩またはその混合物である、請求項１に記載の吸入用医薬組成物。
【請求項６】
ビスホスホン酸が腸溶性ポリマーでコーティングされている、請求項１に記載の吸入用医薬組成物。
【請求項７】
ビスホスホン酸がシュレテリック(sureteric)、酢酸セルロースフタレート、メタクリル酸共重合体、ヒドロキシプロピルメチルセルロースフタレート、アクアコートＥＣＤ３０、シェラックおよびゼインから構成される群から選択される腸溶性ポリマーでコーティングされている、請求項６に記載の吸入用医薬組成物。
【請求項８】
ビスホスホン酸がアレンドロネート、４－アミノ－１－ヒドロキシブチリデン－１,１－ビスホスホン酸；テルドロネート、４－クロロフェニルチオメチレンビスホスホナト酸；パミドロネート、(３－アミノヒドロキシプロピリデン)ビスホスホン酸；エチドロネート、(１－ヒドロキシエチリデン)ビスホスホン酸；レシドロネート、１－ヒドロキシ－２－(３－ピリジニル)エチリデンビスホスホン酸；ゾレドロネート、２－(イミダゾール－1－イル)－１－ヒドロキシエタン－１,１－ビスホスホン酸；および前記化合物の医薬的に許容される塩から構成される群から選択される、請求項６に記載の吸入用医薬組成物。
【請求項９】
ビスホスホン酸がアレンドロネート、４－アミノ－１－ヒドロキシブチリデン－１,１－ビスホスホン酸、その医薬的に許容される塩またはその混合物である、請求項６に記載の吸入用医薬組成物。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
前記ビスホスホン酸の医薬的に許容される塩にはアルカリ金属塩(たとえばＮａ、Ｋ塩など)、アルカリ土類金属塩(たとえばＣａ塩など)、たとえばＨＣｌなどのような無機酸の塩、およびたとえばクエン酸およびアミノ酸などのような有機酸の塩などが含まれる。ナトリウム塩の形が好適である。アレンドロネートを使用する時には、一ナトリウム塩三水和物が最も好適である。別の態様においては、アレンドロネートは無水型で投与してもよい。